

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.31		-		<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.6</b>	0.15		-		<b>3.6</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40		-		
1.2 遮音				<b>4.2</b>	0.40		-		
1 開口部遮音性能		T-2を採用		5.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		壁、床、天井に吸音材を使用		<b>4.0</b>	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.1</b>	0.35		-		<b>3.1</b>
2.1 室温制御				<b>4.0</b>	0.50		-		
1 室温		冬期24℃、夏期24℃の室温が実現可能		5.0	0.38		-		
2 外皮性能		外壁熱貫流率0.44 硬質ウレタンフォーム断熱材を使用		4.0	0.25		-		
3 ソーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20		-		
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.1</b>	0.25		-		<b>3.1</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30		-		
1 昼光率				<b>1.0</b>	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40		-		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 昼光制御				<b>3.0</b>	1.00		-		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15		-		
3.4 照明制御		1階、2階の事務所照明に昼光センサーを採用		<b>5.0</b>	0.25		-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25		-		<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50		-		
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		<b>4.0</b>	1.00		-		
4.2 換気				<b>3.3</b>	0.30		-		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.33		-		
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		各種排気口と6m以上離れて設置		<b>4.0</b>	0.33		-		
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	0.20		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	1.00		-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30		-		<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.5</b>	0.40		-		<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.3</b>	0.40		-		
1 広さ・収納性				<b>1.0</b>	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				<b>3.0</b>	0.33		-		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.6</b>	0.30		-		
1 広さ感・景観		天高3.20m		<b>5.0</b>	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース、自動販売機の設置		<b>5.0</b>	0.33		-		
3 内装計画				<b>1.0</b>	0.33		-		
1.3 維持管理				<b>5.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		ホコリの溜まりにくい設計をしている。		<b>5.0</b>	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		清掃用具室の確保。		<b>5.0</b>	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30		-		<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20		-		
5 通信・情報設備				<b>3.0</b>	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
3.1 空間のゆとり			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	基準階1階階高 6.80m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.07	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.39	-	-	<b>4.2</b>
1 生物環境の保全と創出			緑化の採用	4.0	0.30	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑地を広く確保する計画	5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			コンクリートに神奈川県産の砕石、砕砂を使用	4.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.1</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm0.68	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]: 0.65	4.5	0.50	-	4.5
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			節水コマの採用。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル床材(東リ フロアリューム	3.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			OAフロアを採用	5.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率 80%	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.3	0.33	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.7	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの項目を満たしている。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	自然色に近い緑色を外壁に配し、グレアを低減	4.0	0.30	-	-	